



**令和6年度
日本海岸林学会米子大会
講演要旨集**



期日

令和6年10月26日，27日

会場

鳥取県立米子東高等学校多目的ホール

令和6年度日本海岸林学会米子大会 プログラム

令和6年10月26日(土)：研究発表会，ワークショップ，総会，情報交換会

令和6年10月27日(日)：現地検討会

【大会日程】

10月26日(土) 会場：鳥取県立米子東高等学校(多目的ホール)

9:20~9:25	開会宣言		
9:30~11:10	9:30~11:10	研究発表会	O11~13, O21~23
11:20~12:00	11:20~12:00	ポスター発表	P11~14
12:00~13:00	昼食休憩		
13:00~16:30	13:00~13:05	ワークショップ (公開) 司会 佐藤 亜貴夫氏	会長挨拶
	13:05~13:25		① 海岸林の役割 藤原道郎氏(兵庫県立大学大学院)
	13:25~13:45		② 海岸林と能登半島地震 -今後の飛砂被害に焦点を当てて- 萩野裕章氏(森林総研)
	13:45~14:05		③ 海岸林の松くい虫被害 中村克典氏(森林総研東北)
	14:05~14:25		④ 弓ヶ浜半島の海岸林 山中啓介氏(鳥取大学)
	14:25~14:35		質疑応答
	14:35~14:45		休憩
	14:45~14:55		グループワーク概要説明
	14:55~15:45		グループワーク
	15:45~16:15		グループ発表
	16:15~16:30		まとめ 田中賢治氏(国土防災)
16:40~17:10	総会		
17:10~17:15	閉会宣言		
19:00~21:00	情報交換会	会場：海鮮居酒屋 魚鮮水産 米子駅前店	

●ワークショップ

1 テーマ:海岸林の課題および未来をどう築くのか? -能登半島地震の影響を踏まえて-

2 討議グループ

- ① 様々な役割を持つ海岸林への関心をどう高めていくのか?
- ② 日本海側でも発生する津波に対し、どのような海岸林を造っていくのか?
- ③ 労働人口が減り、人手不足が進行する状態で、松くい虫被害にどう対応すべきか?
- ④ 松くい虫被害跡地をどう再生すべきか? 白砂青松のクロマツ? それとも広葉樹?
- ⑤ 海岸林の未来のため、どのように人材を育成していくのか?

【研究発表会 プログラム】

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ	
口 頭 発 表	座長:伊東 日向 (株式会社環境アセスメントセンター)		
	O11	海岸砂丘地においてクロマツ保護樹と同時植栽した広葉樹の生存状況 後藤拓海・山中啓介	8
	O12	海岸砂丘地におけるクロマツ保護樹が形成する影の被覆範囲とその効果 佐竹沙月・山中啓介	10
	O13	令和6年能登半島地震が影響を及ぼした海岸林・海浜調査結果と現状報告 小倉晃・江崎功二郎・岡田穰・萩野裕章・山中啓介・吉崎真司・岡浩平・佐藤亜喜夫・ 勝見尚也	12
		座長:佐藤 匠 (宮城県林業技術総合センター)	
	O21	庄内海岸における松くい虫被害の現状と今後の対策 中村克典	14
		O22	
	O23	「白砂青松」に向けた弓ヶ浜における保全活動報告 — 弓ヶ浜白砂青松まもり隊の活動事例から —	18
		田中賢治	

発表 No.	発表タイトル, 発表者名(敬称略)	ページ	
ポ ス タ ー 発 表	進行: 山中 啓介 (鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター)		
	P11	海岸砂丘地における異なる遮光下の広葉樹3種とクロマツの発芽特性 増田晃久・山中啓介	22
		P12	
	P13	津波, 高潮による塩水冠水に対する樹木の応答の一覧表作成について 伊東日向	26
		P14	